



『この町で生きてゆく』を支える

ハレノヒ通信

4月
2026

院長コラム



4月1日で、茶屋町在宅診療所はおかげさまで開院10年目を迎えます。

この日を迎えられたことを、ありがたく思います。

地域の皆さま、患者さんやご家族、連携してくださる多くの方々、そして日々診療所を支えてくれているスタッフに、心より感謝申し上げます。

10年前、この茶屋町で在宅診療所を始めたとき、今日の姿を具体的に思い描けていたわけではありません。

ただ、病気や障がいがあっても、住み慣れた場所で、その人らしく暮らしていけるように支えたい。そんな願いを胸に、一日一日を積み重ねてきました。

この10年、うれしいことばかりではなく、迷い、悩み、立ち尽くすような時間もありました。

それでも歩みを止めずにこられたのは、患者さんやご家族の暮らしの中にある力に、私たちのほうが何度も支えられてきたからだと思います。

在宅医療は、医療者だけで成り立つものではありません。

ご本人、ご家族、訪問看護や介護、薬局や病院、地域のさまざまな人たちの力が重なり合って、ひとつの暮らしが支えられていきます。

私たちもまた、そのつながりの中で、この町の医療に携わってきました。

支える側、支えられる側と分けるのではなく、人と人として出会い直しながら、この地域の中で共に生きる医療をこれからも育てていきたいと思っています。

10年目もまた、静かに、ていねいに、一歩ずつ。

これからも茶屋町在宅診療所をどうぞよろしくお願いいいたします。

茶屋町在宅診療所 院長 亀山有香

茶屋町ハレノヒ

茶屋町ハレノヒの工事は順調に進んでいます。屋根が葺かれ、建物の形が見えてきました。内装も決まり、完成予想図も上がってきて、少しずつ全体のイメージがはっきりしてきました。

完成に向けて準備を進めていますので、どうぞ楽しみにお待ちください。



わがや自慢 特集



いさんちのディスプレイ

ご家族お手製の縮緬細工が彩る玄関。季節ごとに変わるしつらえが、訪問のたびに楽しみです。

Hちゃんちのピッピ・0歳♀

いつも明るいHちゃんの妹分。どんどん大きくなるピッピに圧倒されつつ、いつも仲良しのHちゃんとピッピに癒されています。



茶屋町在宅診療所のアンコ・3歳♂

他のスタッフには甘えん坊で、すぐにすり寄っていくのに、なぜか院長にだけはとことん塩対応。院長が近づくと、するりと逃げるのがお約束です。今日もアンコに振られ続ける院長なのでした。

このコーナーで我が家の自慢を募集中。ペット、趣味、景色など何でも自慢して下さい。訪問の際に診療アシスタントに気軽にお声かけ下さい。

スタッフつれづれ

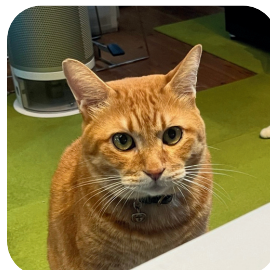
医療事務 吉井 美穂です。インスタの社食紹介に「囁き女将」として登場しています。趣味は食べることとライブ参戦。体重増加が気になりますが...盛り盛り食べて、仕事とライブのために体力をつけています。医療事務として長年勤務してきた経験を生かし、皆様のお役に立てるよう精進していきます。



編集後記

編集後記
今月は院長が編集したので、色々記事が間に合わず、急遽我が家自慢特集にしちゃいました。

インスタに出演中。
チェックしてね!



@TORA9_9CHAYAMACHI

茶屋町在宅診療所

〒710-1101
倉敷市茶屋町360番地12
TEL : 086-429-0033
FAX : 086-429-1133